

解 答

一 問一 ① 長州

② 戦に敗れ、見廻り組に見つかるとつかまってしまう。

③ 4

問二 1 問三 4 問四 3 問五 1 問六 2 問七 3 問八 2

問九 1 × 2 ○ 3 × 4 ○ 5 ○ 6 ×

問十 遅刻しそうだったので弁当をわしづかみにして家を飛び出した。

問十一 4・5

問十二 <解答例> 弁吉の投げた夏だいだいを見た兄の胸には、故郷をはなれるときにはいだいていた「自分の思いどおりに生きてみたい」という思いがよみがえってきたのではないか。ほこりを取りもどし、堂々とした態度で死に向かう兄の後ろ姿や、その兄が残していった夏だいだいは、これからひとりでどう生きていけばいいのかと、とほうに暮れていた弁吉に「おまえも自分の道を歩め」と告げていたのだと思う。

二 問一 常にゆれ動く網膜に映像を定着させる。

問二 a 未知の物事を心の中で思い描く力

b 新しいものを初めてつくり出す力

問三 2

問四 考えてわからぬようなことに興味をもって考えること。

問五 錯覚が生まれにくくなること。

問六 緊張すること。

問七 3・5

問八 人間は想像力によってものの見方をあいまいにできるということ。

三 1 標識 2 美談 3 給湯 4 徒労 5 治 6 ひたい 7 いちがん 8 かま